

HIDE'S NEWS

守谷市議会議員 わたなべ秀一 後援会ニュース

2015年 6月号

守谷の これから を創る



ひでかず

わたなべ 秀一

HIDEKAZU WATANABE

守谷市議会議員 わたなべ秀一 後援会ニュース 2015年6月号 2015年6月1日発行 発行/わたなべ秀一 後援会 企画デザイン/面田商事さねよし

HIDE'S VOICE



4月29日は取手市の緑地公園にて、『第38回 こども天国 未来を創る僕らの力』が開催されました。

写真は毎年恒例の餅つきの手伝いの様子です。今年、つくばみらい市にある立浪部屋の力士にも協力していただきました。

3月定例会

わたなべ秀一の一般質問

◎地方創生「県まち・ひと・しごと創生連絡会議」について

- ・子育て家庭やシニア世代を支援する「プレミアム商品券」購入補助事業について
 - ◇ キッズカード、シニアカードの交付状況
 - ◇ 今後の対応
- ・県産品インターネット販売促進事業について

◎空き家対策特別措置法について

- ・市内における特定空き家と呼ばれる現状について
- ・施行後の市の役割について
 - ◇ 固定資産税の住宅用地特例
 - ◇ 今後の対応

◎市における広告事業収入について

- ・広告事業収入の現状と取り組み
- ・今後の取り組み

わたなべ秀一 プロフィール

有限会社 渡辺商店代表取締役
 生年月日：昭和47年1月8日
 守谷市立 守谷中学校 卒業
 茨城県立 守谷高等学校 卒業
 千葉商科大学 経営学科 卒業
 明治大学公共政策大学院 在学

平成21～22年 守谷市商工会青年部 部長
 がぶりメンチのプロデュース

平成23年 (社)常総青年会議所理事長

平成24年 守谷市議会議員 初当選

平成24年 守谷市消防団第2分団長

現在 文教福祉常任委員会 委員
 広報特別委員会 委員
 地方創生特別委員会 副委員長

わたなべ秀一 後援会

〒302-0109 守谷市本町260

TEL 090-3234-2809 FAX 0297-48-1487

nabesta1211@yahoo.co.jp

わたなべ秀一 [検索](#)

HIDE'S CAFE OPEN

地域を良くするアイデアについて、お茶を飲みながら楽しくお話しませんか？

開催場所	6/18(木)
わたなべ秀一	13:00~14:30
後援会事務所	7/18(土)
(ココス守谷店の向かい)	13:00~14:30

HIDE'S NEWS

今秋オープン 『守谷駅前
親子ふれあいルーム』

アワーズもりやの3階に守谷市の施設『親子ふれあいルーム』が開設されます。



名称	守谷駅前親子ふれあいルーム
住所	守谷市中央2丁目16-1 アワーズもりや3階
開設時期	2015年10月1日
開館時間	午前10時～午後6時
休館日	毎月第1水曜日・年末年始
対象者	0歳～小学校6年生までの児童及びその保護者
利用料	無料
収容人数	40名
面積	約215㎡(64.97坪)
設備	遊戯室・図書室・乳児室・授乳室

※開所時期や内容等は予定ですので、ご了承ください。

ームは、国の『まち・ひと・しごと創生法』事業の一環です。しかし平成28年度以降、国からの交付金の目途は現在のところ立っておらず、それ以降は、市の一般財源から繰り入れると予想されます。また、ふれあいルームは公の施設なので、本来、アワーズもりやに入るはずのテナント収入(約800万)が無くなり、減額分は市の負担となります。これらの結果、アワーズもりやの収支は合わなくなると予想されます。

もし仮に、1.2ヘクタールの市有地を公共施設として活用した場合には、ふれあいルームを市有地に移転する計画との回答も得ております。逆に公園などのオープンスペースとして活用した場合には、守谷駅東口に市の施設が無くなることから、アワーズもりやに公の施設をという要望も出てくるでしょう。

この施設は、子育て支援の一環として、児童の健全な育成に寄与することを目的としており、児童の遊び場や保護者間の交流などに幅広く活用される予定です。初年度には、「マクラブの組織化支援」「乳幼児の育児相談」「パパ・ママと一緒に遊ぶ講座」などが計画されております。

HIDE'S NEWS

守谷駅東口にある

市有地の活用について

『守谷駅東口市有地の活用のあり方』について守谷市総合計画審議会から守谷市に答申書が提出されましたので、一部、紹介させていただきます。この問題は、2014年12月の定例会にてわたなべ秀一的一般質問でも取り上げました。

①オープンスペースとしての活用

当然ながら、子育て支援の充実には守谷市の喫緊の課題であるため、ふれあいルームのような児童施設は必要不可欠です。今後、限られた財源の中で守谷駅東口周辺をどのように進展させていくか、また現有資産を効率的・効果的に活用するためにも様々な観点から全体最適を図っていく必要があります。



守谷駅東口に広がる市有地。有効活用が望まれる。

▼自然を活かした、多目的に利用できる公園整備を行う。

②公共施設としての活用

▼これからの年齢別人口を考慮して、その時代に合わせて活用ができるフレキシブルな施設にする。守谷市は常磐自動車道や茨城空港・成田空港からのアクセスが良好なので、交流人口の増加につながる施設にする。ホールや集会施設の場合には、現有施設の規模を上回るものとする。

③売却について

▼売却はすべきでない。

HIDE'S EYE

守谷駅東口の更なる活性化を図るためには、『アワーズもりや』と『1.2ヘクタールの市有地』を一体的に考えた上で、その中身を充実させる必要があるとわたなべ秀一は考えます。冒頭で紹介した、親子ふれあいル

HIDE'S NEWS

「報告

副委員長に選任

2015年3月の定例会にて『地方創生特別委員会』が新設置され、わたなべ秀一は、副委員長に選任されました。

この特別委員会は守谷市の、まち・ひと・しごとの創生に関する目標や基本的方向などを検討します。

今後、少子高齢化に伴う社会構造の変化により、地方は新たな行政需要や行政課題への対応が求められ、ますます厳しい局面を迎えると考えられます。そのような情勢の中でも守谷市は、魅力的で活気に溢れる『住み良いまち』として更なる成長をしなければなりません。副委員長として精一杯、委員会の活動に取り組んでまいります。